

他県の事例に見る開業効果

既に全線開業した九州新幹線鹿児島ルートにおいて、熊本・鹿児島両県で現れているさまざまな効果を紹介します。

交流人口・定住人口が拡大

全線開業後は、一年間当たりの地域間流動量[※]が約1.3～2倍となり(図1)、交流人口が増加しています。鹿児島ルートでは一日当たりの新幹線定期利用者が2倍以上に増加し(図2)、定住促進につながっています。懸念されていたほどの定住人口の県外流出には至っていません。[※]地域間を移動する人の数

図1 一年間当たりの地域間流動量

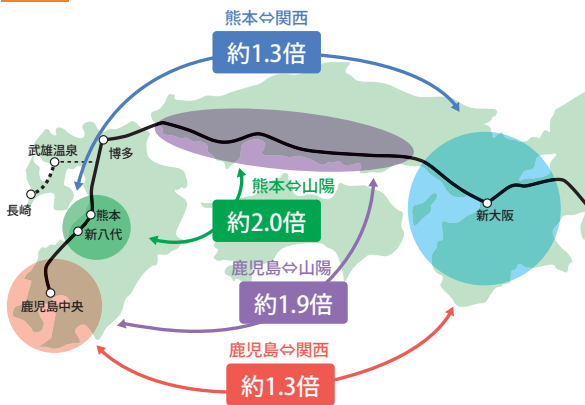
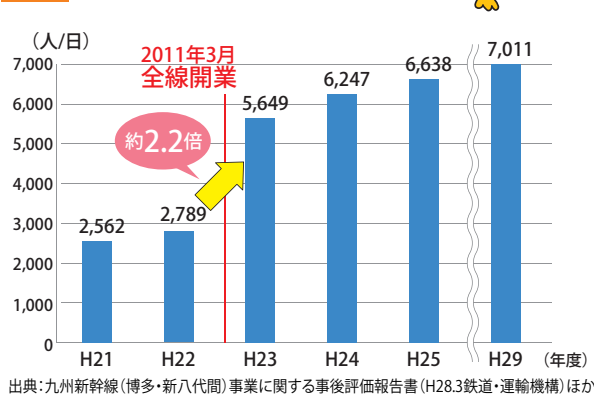


図2 一日当たりの新幹線定期利用者数



官民一体となってまちづくりに取り組んだことも影響しているんだって!



産業面でも期待される波及効果

熊本市では全線開業後、企業の立地件数が増加しています。(図3) 西九州ルートが全線開業すると、本県のアクセス面での利便性が高まり、九州への進出を考える企業にとってさらに選択の幅が広がります。また、駅周辺の大型施設などの整備を進めることで、これまで都市圏でしか行われなかったコンベンションなどの開催も可能となり、交流人口のさらなる増加が期待されます。(図4)

図3 熊本市における企業立地件数の推移

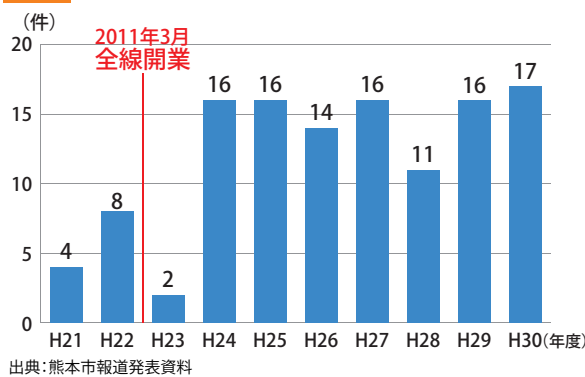
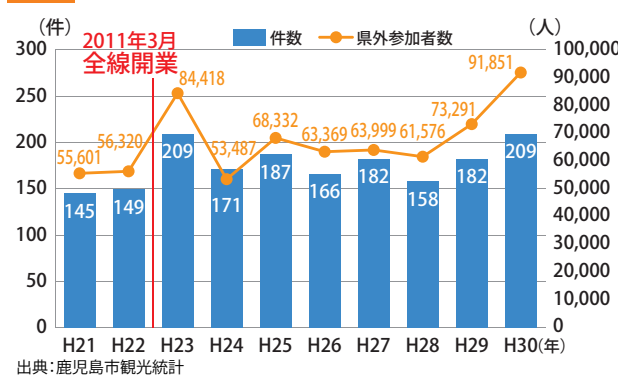


図4 鹿児島市におけるコンベンション開催件数の推移



人材の県外への流出の歯止めにもつながるばい!



九州新幹線西九州ルート長崎～武雄温泉間の開業を2022年度に控え、その効果をさらに高めるためには、県のみならず県民の皆さん一人一人が地域の魅力の磨き上げやおもてなしなどそれぞれの立場で一緒に取り組みを進めていただくことが重要です。

また、整備方針が決まっていない武雄温泉～新鳥栖間については、西九州地域の将来の発展のため、早期にフル規格による整備が決定できるよう全力で取り組んでまいります。

長崎県知事
中村法道



武雄温泉～新鳥栖間のフル規格整備に向けて

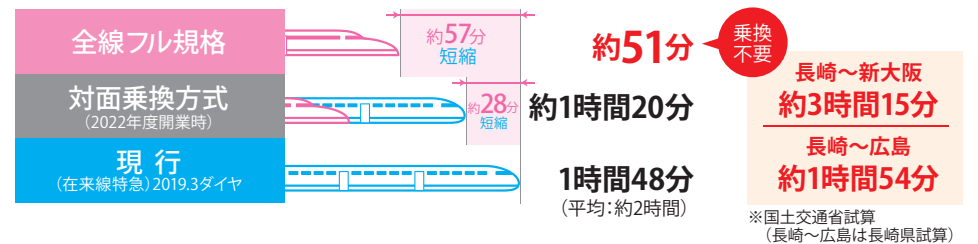
2022年度の長崎～武雄温泉間の開業は、武雄温泉駅での対面乗換方式によるもので、あくまで暫定的なものです。「新大阪まで直通し、全国の新幹線ネットワークとつながる」という西九州ルートの本래の姿を実現し、西九州地域の将来の発展につなげるため、官民一体となって、武雄温泉～新鳥栖間のフル規格による整備を目指しています。

全線フル規格による整備効果

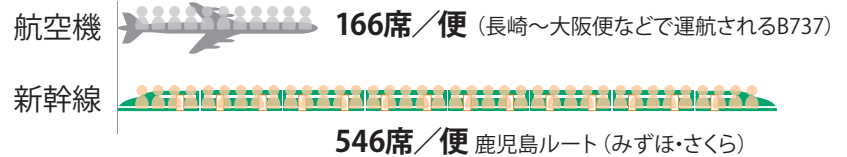
大幅な時間短縮効果と大量輸送が可能に!

全線フル規格が実現すれば、さらなる時間短縮効果や輸送可能人数の増加によって、中国・関西地方との交流人口の拡大が期待できます。人口減少の課題を抱える本県や西九州地域はもとより、九州地域全体の活性化のためにも、全線フル規格による整備が必要不可欠です。

長崎～博多間の所要時間(最速)



輸送可能量



ほかにもあります 全線フル規格のメリット!

- これまで進学や就職などで引っ越しが必要だった地域が、自宅からの通学・通勤圏内となり、定住促進につながります。
- 日帰りで仕事や観光が可能な地域が広がります。
- 新幹線は専用の高架を走行するため、雨や事故などの影響が少なく、より安全で安定的な移動や輸送が可能となります。
- 過去の震災被害を教訓として、非常に強い耐震性が備っています。

リニア中央新幹線の整備で、大都市圏との結び付きがさらに強化されます

